

栄花物語

卷第三十二 一 歌合

右馬頭良経朝臣

沢水に空なる星のうつるかと

見ゆるは夜半の蛍なりけり

赤染（赤染衛門）

名に立てる五月の闇もなかりけり

沢の蛍のまがふ光に

「国歌大観」より